

人工知能、市場集中と経済成長、所得分配に関する研究

国際商経学部 大住 康之



キーワード

人工知能、市場集中、労働から資本への代替性、収穫逦増、不平等

研究概要

次のような観点から、成長と分配に関する研究を行っています。

1. ロボットの出現による労働から資本への代替作用に関する研究。このような代替作用は成長や雇用や分配に如何なる影響を及ぼすか。
2. オートメーションという新技術の性質に関する研究。新技術が産業や市場における一極集中化現象をもたらすならば、成長や分配に如何なる影響を及ぼすか。
3. 規模に関する収穫逦増に関する研究。特に金融部門や情報関連産業に現れる巨大企業の出現や資産の自己増殖をもたらすメカニズムの解明。このような収穫逦増現象は成長や分配にどのような影響を及ぼすか。

こういった点について、学外研究者と共同して研究を進めています。

アピールポイント

人工知能の進展によるオートメーション化やロボット資本の出現やさらには巨大企業の出現現象を背景として、主要先進国で生じている成長の停滞や所得の不平等化現象に対して成長促進策や格差是正策等について提言しうる点です。

応用分野

成長、格差、雇用、失業に関する理論的、実証的、政策的な観点からの日米欧比較研究。